

# <森のクイズラリー> 問題&解説シート 2022年度春版

**A**

Q. ここ（ハケ岳自然ふれあいセンター）から富士山の山頂までは直線距離でどのくらいでしょう？

① 約6 km

② 約32 km

③ 約69 km

④ 約124 km

【こたえ】 ③約69 km

①約6kmはハケ岳の主峰、赤岳山頂までの距離。②約32kmは日本で2番目に高い北岳山頂までの距離。④約124kmは東京駅までの距離です。周りを見てみると、山梨県は高い山々に囲まれていることが分かりますね。

このあたりの地域では「富士山とハケ岳の背比べ」というお話が伝わっています。2つの山の神様が、自分が日本一番高い山だとケンカばかりするので、あみだ如来様がそれぞれのてっぺんに『とい』をかけて水を流して、背を比べてみるというお話です。

もしこのお話が本当なら、『とい』の長さは69kmくらいだったのでしょうか…！？

**B**

Q. 春から夏にかけてはお花がたくさん咲くたのしい季節！

ここからゴールまでの間に見つけた花の色を、できるだけ書いてみましょう。

【こたえ】 あなたの書いた答えが正解！

この季節は、色とりどりの花が森を彩ります。同じ花でも日に日に色が変わっていきます。中には「うすーい黄色」とか、「とっても濃い赤？それとも紫色？」など、絵の具にはなさそうな色も自然の中には溢れています。もし時間があれば、自然観察路の地図を持ってもう一度森の中へ出かけてみましょう。たくさんのお会いが待っていますよ。

**C**

Q. 森の中に住むヤマネには、ある特技があります。それはなんでしょう？

① ほかの生き物の鳴きまね

② 犬以上の嗅覚がある

② 毒をだして天敵から身を守る

④ すばやい木登り

【こたえ】 ④すばやい木登り

ヤマネは主に木の上でくらす、樹上性（じゅじょうせい）のいきものです。ヤマネの体には、木でくらす上で便利な機能が備わっています。指先のかぎづめで枝をしっかりとつかみ、森の木々を素早く移動することができます。また、背中のアクセントの黒いラインは、枝に擬態（ぎたい）して天敵から身を隠すためのものだと考えられています。春になると活発に動き始めるヤマネ、今日も清里の森で元気に木々を走り回っていることでしょう。

**D**

Q. ハケ岳周辺にも多く生活をしているニホンジカ。  
春になると、シカの体にはある変化が起こります。それはなんでしょうか。 ※正解は一つとはかぎりません。

- ① 歯が生え変わる    ②角が抜け変わる    ③毛が抜け変わる    ④蹄が取れる

【こたえ】 ②角が抜け変わる③毛が抜け変わる

ニホンジカのオスは年に1回、角が生え変わります。角の根元からぽろっと取れる季節は春。清里周辺のシカはゴールデンウィークごろに角が落ちます。

体も冬毛から夏毛に変わっていきます。夏毛は子供も大人も、みんな「鹿の子模様」。春先に森へ出かけてみると、彼らが落としたシカの角や冬毛に出会えるかも…！

**E**

Q. ここまで歩いてきてあなたが清里の自然について「素敵だな」、「大切にしたいな」と思ったことは何ですか？書けるだけ書いてみよう。

【こたえ】 あなたが書いた答えが正解！

ハケ岳自然ふれあいセンターには、この清里の自然を守り、多くの人に自然の魅力を伝える「レンジャー」が働いています。しかし、レンジャーの力だけでは清里の自然をずっと先の未来まで残してゆくことはできません。

もしよかったら、あなたが今日「素敵だな」「大切にしたいな」と思ったことを誰かに伝えたり、ここ以外の自然や生き物のことも考えてくれたりすると嬉しいです。

これからも人や生きものたちみんなが、この地球で幸せにくらせるようにしたいですね。

## SDGs (エスディーゼズ) を 知っていますか？

SDGsは、Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の頭文字を取ったもので、2015年の国連総会で提起された持続可能な社会を実現するための2030年時点の17つの達成目標です。



### レンジャーゆっこのSDGsアクション！

「おいしくたのしくサスティナブルに」



使い捨てのラップを体や環境にも優しい手作りのみつろうラップにすると、可愛く保存ができて楽しくなったり、捨てていた野菜や果物の皮を、栄養満点のベジブロスにしてみたり。

食器用洗剤もなるべく使わず、麻糸(川に繊維が流れても分解される)のタワシを使ったりしています。食べるのが大好きだから、まずは生活の中で好きな時間から小さなSDGsに取り組んでいます。